

御前崎の自然を 子どもたちに残そう

皆さんは、環境のために日頃どのような取り組みをしていますか？

世界では、さまざまな環境問題が起こっており、本市も例外ではありません。市の豊かな自然環境を次世代に残すために、私たちは、どのようなことに気をつけていけば良いのでしょうか？

ここからは3つのステップに分けて、環境問題について考えてみましょう。

step 1

世界・日本でどんなことが問題になっているの？

まずは、世界や日本で起きている環境問題の一例を見てみましょう。

海洋プラスチック問題



世界では、廃棄されたプラスチックごみが、毎年800万トも海に流れ込んでいると推計されています。また、日本国民一人当たりのプラスチック廃棄量は、年間約32キ。これは、アメリカに次いで、世界で2番目の廃棄量となります。プラスチックは、極めて丈夫な物質で、自然分解されるまでに数百年、数千年かかるといわれています。どれだけ小さく砕けても、長期にわたって海に残存するため、生態系や人への健康被害が懸念されています。

食品ロス問題



国内では、年間約643万トの食品が廃棄されているといわれています。これは、世界の年間食糧援助量である390万トの1.6倍近くに相当します。一方で、発展途上国などでは、約8億人が栄養不足の状態にあるといわれており、食品の廃棄が、飢餓で苦しむ人々から食料を奪っています。それだけでなく、廃棄物となる食料の生産や運搬、焼却に使われるエネルギーも無駄になっている点などから、この食品ロスが深刻な問題となっています。